



2021年7月30日

沖縄電力株式会社

2021年度 第1四半期決算について

1. 販売の状況

当第1四半期の販売電力量は、電灯については、他事業者への契約切り替えなどによる需要減があったものの、気温が前年に比べ高めに推移したことによる需要増により、前年同期並みとなりました。電力については、前年に比べ、新型コロナウイルスによる影響が弱まったことや気温が高めに推移したことによる需要増により、前年同期を上回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ4.9%増の16億70百万kWhとなりました。

2. 収支の状況

当第1四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、「収益認識に関する会計基準」等の適用による電灯電力料（再エネ賦課金）および再エネ特措法交付金の減少や、燃料費調整制度の影響により、売上高（営業収益）は前年同期に比べ81億42百万円減の366億10百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、「収益認識に関する会計基準」等の適用による再エネ特措法納付金および他社購入電力料の減少はあるが、燃料費などの増加があり、営業費用は前年同期に比べ67億41百万円減の383億95百万円となりました。

この結果、営業損益は17億84百万円の損失となりました。

また、営業外損益を含めた経常損益は17億63百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は15億77百万円の損失となりました。

3. 連結業績予想

2021年度通期の連結業績予想については、電気事業において、燃料費調整制度の影響や販売電力量の増加および他社販売電力料などの増加により、売上高は前回発表（2021年4月30日）より61億円増（3.8%増）の1,685億円を見込んでおります。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、電気事業において、燃料費や他社購入電力料などの増加が見込まれることから、前回発表の通り、それぞれ68億円、65億円、47億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	2020年度 第1四半期累計 (実績)	2021年度 第1四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	664	664	+0	+0.1%
電 力	928	1,006	+78	+8.4%
合 計	1,592	1,670	+78	+4.9%

■連結経営成績

(単位：百万円)

	2020年度 第1四半期累計 (実績)	2021年度 第1四半期累計 (実績)	増減	増減率※
売 上 高	44,752	36,610	△8,142	—
営 業 利 益	△383	△1,784	△1,401	—
経 常 利 益	△418	△1,763	△1,344	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△401	△1,577	△1,175	—

※2021年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しているため、2021年度第1四半期の値は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、増減率は記載しておりません。なお、「収益認識に関する会計基準」等の適用による2021年度第1四半期の業績への影響額は、81億32百万円の売上高減となります。

○連結業績予想（2021年度通期）

連結業績予想については、2021年4月30日に公表した予想数値から修正しております。

■連結業績予想（対4月公表値）

(単位：百万円)

	2021年度通期 前回発表予想数値 (4月公表)	2021年度通期 今回発表予想数値	増減 (対4月公表)	2020年度 実績
売 上 高	162,400	168,500	+6,100	190,520
営 業 利 益	6,800	6,800	—	12,619
経 常 利 益	6,500	6,500	—	11,335
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,700	4,700	—	8,341

上記業績予想（今回発表予想数値）には、新型コロナウイルス感染拡大の影響として、販売電力量の減（△124百万 kWh）を織り込んでおります。